

第3回「地方独立行政法人北九州市立病院機構評価委員会」の開催結果について

- 1 **開催日時** 平成30年8月27日（月）15:30～16:30
- 2 **開催場所** 北九州国際展示場・AIMビル3階 314・315会議室
- 3 **出席者** 近藤委員長、赤木委員、小松委員、下河邊委員、田中委員、花岡委員、松木委員、吉田委員
- 4 **内容** 中期目標（案）について
- 5 **会議要旨**

○吉田委員（よしだ小児科医院・理事長）

医療センター、八幡病院ともに、専門性を伸ばすことは良いことだが、患者が「受診したい」と思う雰囲気を作るには、医療スタッフがその気で当たらないと駄目だと思う。特に、患者への細やかな目配りや声掛けは大事だが、医療センターの外来ではやや足りない面があるのではないかと感じている。例えば、外来全体を見回って待ち患者の体調などに気配りできるような看護師の配置を検討してはどうか。

高度な医療だけではなく、患者に「受診したい」と思わせることが大事だと思う。

○田中委員（下関市立市民病院・理事長）

独法化すると柔軟な病院運営が可能となるが、中期目標をあまり厳しく設定されると、目標達成に必死になり、評価や報告書の事務作業が増えてしまう面がある。

そういう意味では、今回の中期目標（案）は、ちょうど良いバランスだと思う。

○花岡委員（福岡県看護協会・会長）

今回の中期目標（案）は、病院運営全般が網羅されたものと評価している。

患者に選ばれる病院になることが最終的な質の評価になると思う。職員の人となりや患者を呼ぶのであり、最前線にいる職員の意識を変えるためには、リーダーシップやマネジメントが大事になる。一方、職員が病院のために何かをやろうというふうに意識が変わるには、病院から大事にされていると思える職場にする必要があり、リーダーシップとメンバーシップ双方の関係が大事になると思う。

また、中期計画の段階の作業になると思うが、独法化後は、職員みんなが理解して共有できるような分かりやすい数値目標などを設定することがとても大事だと思う。

○小松委員（北九州手をつなぐ育成会・理事長）

中期目標の期間については、市の案のとおり「5年」が妥当だと思う。

また、今回の中期目標（案）については、評価委員の意見も取り入れられており、非常に良いものができたと評価している。

独法化後は、経営改善も重要だが、病院スタッフが一丸となって病院を作っていくという意識が大事であり、病院に対する愛着心が醸成されることも大事である。

そういう意味では、「市民・地域医療機関からの信頼の確保」として、患者サービスの向上を目標に具体的に掲げたことは非常に素晴らしいことだと思う。

独法化を契機として、理事長のリーダーシップの下、患者から評価されるより良い病院になることを期待している。

○赤木委員（全国地方独立行政法人病院協議会・事務局長）

災害時の医療について、「病院自体が被災することも想定して対応策を準備すること」が中期目標に明記されたことは大変良いことだと思う。

中期目標（案）はこれで良いと思うが、「独法化して何が変わったのか」ということが独法化後は議論になると思う。そのため、今後作成する中期計画については、例えば、未収金発生の予防策や悪質な滞納者への対策をどうするか、また、これまで市職員が定期異動していた事務職員の人材育成などについても記載する方向で検討して欲しい。

○松木委員（松木公認会計士税理士事務所・所長）

今回の中期目標（案）は、細か過ぎず大まか過ぎず、スマートな良い内容だと思う。

現在、病院局の過去数年の財務諸表を決算資料等でチェックしているが、今後の中期計画の作成にあたって気になることが2点ある。

1つは、独法化後は、病院局の資産や負債が法人に引き継がれることになると思うが、例えば、借入金の支払利息について、今後の利率の変動等にどう対応していくのか。

もう一つは、看護専門学校について、学校単体の収支状況がどうなっているのか。

今後、中期計画を議論する中で、明らかにしていただきたい。

○下河邊委員（北九州市医師会・会長）

この中期目標（案）が実行されるよう願っている。

独法化後は、2つの病院の質を担保しながら、いかに患者目線で運営するか、2つの病院をいかに機能分化していくか、地域医療の中でどうポジショニングを取っていくかが課題だと考えている。

○近藤委員長（北九州市立大学・特任教授・前学長）

独法化後は、患者や市民に選ばれる病院になるためのマネジメントが必要だということは、評価委員会として、是非新しい理事長や院長に伝えるようにしたいと思う。

また、今回、委員からは、中期計画に関連する意見や要望がいくつか上がっていたので、事務局は、今後議論できるように準備していただきたい。

今回、提示された中期目標（案）については、大きなご異論はなく、これで固まったと認識している。評価委員会として了承した形でもよろしいか。

<委員一同「異議なし」>

それでは、今回の中期目標（案）については、評価委員会として了解したこととする。